

三原市立大和中学校

知事への表敬訪問 ～大阪・関西万博での発表を報告～

三原市立大和中学校が、大和町産の米粉を使った商品開発、商品の販売イベント、イベントの宣伝活動及び取組の成果について大阪・関西万博で発表しました。

これまでの一連の取組内容について、知事を表敬訪問し、報告します。

1 知事訪問について

(1) 日 時 6月16日(月) 16:15～16:30

(2) 場 所 広島県庁北館 第1会議室(広島市中区基町10-52)

(3) 出席者	三原市立大和中学校	生徒	まえ はるひと 前 陽仁	たけすぎ あすか 竹杉 飛鳥
			せんにち あいな 千日 愛奈	おか こはる 岡 小晴
		校長	おくもと みのる 奥本 実	教諭
			にしもと たかひろ 西本 貴博	
	地域法人おせっかいさん	代表	むらかみ ともこ 村上 朋子	副代表
			みながわ かおり 皆川 夏織	
	株式会社おこめん工房	代表	いかけ まさよし 井掛 雅祥	
	三原市教育委員会	教育指導係長	く どう はるあき 久藤 玄明	

2 大阪・関西万博での発表について

大和中学校の2年生4名は、本日(6月11日(水))大阪・関西万博に参加し、農林水産省の出展期間であるMAFFウィークにおいて発表を行いました。この発表は、大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」及びMAFFウィークのテーマ「RELAY THE FOOD～未来につなぐ食と風土～」に基づき、大和町の地域資源である米粉を活用した食品開発を通じて、大和町の魅力を広める取組について紹介したものです。

生徒たちは、増田製粉株式会社及び地域法人「おせっかいさん」と共に、昨年度の総合的な学習の時間で取り組んだ内容をトークショー形式で発表しました。「米粉の商品開発を通して、大和町の魅力をたくさんの人に知ってもらい、大和町を盛り上げよう」というテーマのもと、三原市特産の米粉を活用した商品開発や販売イベントなど、探究的な学習に取り組んできました。



大和町を盛り上げるためのイベントを広島空港で開催した様子